

体育科の研究

1 体育科で目指す子ども

運動の特性に応じた体の動きや健康に関する原則に着目して、運動や生活の行い方を工夫し、体力の向上や健康の保持増進を図る子ども

体育科では、心と体を一体としてとらえ生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することが求められている。

そのためには、子どもが「見方・考え方」を働かせて、運動や健康に関する課題を発見したり、課題を解決する方法を考えたりすることが必要である。

体育や保健の「見方・考え方」は、様々なとらえ方の中で、運動の特性に応じた体の動きに着目したり、生活における課題や情報を健康で安全な生活についての原則等に着目してとらえたりすることが大切であると考えられる。

運動や生活の行い方を工夫するとは、課題を見付け、その解決に向けて必要な方法や活動が何かを考えることである。その際に子どもが、体育や保健の「見方・考え方」を働かせることで、資質・能力を発揮させ、豊かな生活の喜びを得ることができるのである。

このような子どもは、他の運動や生活の場面においても運動の魅力に触れたり健康の保持増進や回復を目指したりして主体的に学習を行っていく。そして、運動や健康に関する新たな課題を発見し、よりよい解決方法を探究していく。

このように、体育や保健の「見方・考え方」を働かせ、資質・能力を発揮していくことを繰り返すことで、体力の向上や健康の保持増進を図る姿が、当校の体育科で目指す子どもの姿である。

2 豊かに考える子どもを育む授業づくり

○ 低学年運動領域：ゲーム

相手や仲間の動き方に着目した作戦を考え、自分の動き方を見いだす子ども

小野は、まず、相手に阻まれて得点できない攻撃場面の動画を見せ、展開の予想と理由とを問う。子どもは、自分のチームにも同じ状況があったことを想起し、「どうしたら得点できるのか」と問いをもつ。

次に、課題解決に必要な動きの視点を共有させたり、タブレット端末で動き方を選択させる場を設定する。すると子どもは、相手や仲間の動き方に着目して、ゲームと作戦の修正とを繰り返し、より多く得点を取るための動き方を工夫していく。このような学習過程を通して、「どこに」「どのように」動けばよいのかを理解し、目指す姿になる。

○ 第6学年保健領域：病気の予防

健康に関する原則に基づいた具体的な予防方法を考える子ども

長谷川は、まず、未知の病気の事例を提示し、どんな予防をしたらよいかを問う。子どもは、「どうしたら予防できるだろう」と問いをもち、予防方法を予想する。

次に、どんなことが分かれば効果的な予防方法が考えられるかを問う。子どもは、保健の「見方・考え方」を働かせて「病気の要因を考えればよい」と気付く。

そして、複数の病気の要因を提示し、どんなときに病気が起こるかを問う。子どもは、病気の起こり方の原則を見いだす。最後に、分かったことを基に課題解決のための予防方法を決定させることで、目指す子どもになる。

3 体育科の学習で働かせる「見方・考え方」

	低学年	中学年	高学年
見方・考え方	【運動領域】 ○運動の特性に応じた体の動きに着目すること ○自己の動きと他者の動きとを比較して考えること ○自己の前の動きと今の動きとを比較して考えること	【運動領域】 ○運動の特性に応じた体の動きに着目すること ○自己と他者の動きや、他者と他者の動きを、比較したり関係付けたりして考えること ○自己の前の動きと今の動きとを比較して考えること ○自己のグループと他者のグループの動きや、他者のグループと他者のグループを、比較したり関係付けたりして考えること	
		【保健領域】 ○病気の要因に着目すること ○健康に関する原則や概念に着目すること ○身近な生活の課題や情報を、疾病等のリスクの軽減や心身の健康の保持増進と関連付けて考えること	

4 体育科で育成する資質・能力

	低学年	中学年	高学年
① 知識・技能	【運動領域】 ○運動遊びの行い方や動きに関する基本的な知識・技能	【運動領域】 ○運動の行い方に関する知識 ○運動を行うための基本的な動きに関する技能	【運動領域】 ○運動の行い方に関する知識 ○運動の特性に応じた基本的な動きに関する技能
		【保健領域】 ○健康な生活に関する知識 ○体の発育・発達に関する知識	【保健領域】 ○心の発達及び不安や悩みへの対処に関する知識・技能 ○けがの手当に関する知識・技能 ○病気の予防に関する知識
② 思考力・判断力・表現力	【運動領域】 ○運動遊びの行い方を工夫する力 ○考えたことを他者に伝える力	【運動領域】 ○自己の能力に適した課題を見付ける力 ○課題解決のための方法や活動を工夫する力 ○考えたことを他者に伝える力	【運動領域】 ○自己やグループの運動の課題を見付ける力 ○課題解決のための方法や活動を工夫する力 ○自己や仲間の考えたことを他者に伝える力
		【保健領域】 ○自己の健康に関する課題を見付け、解決に向けて思考し判断する力 ○病気の要因の関係性を判断し、予防方法を選択したり、説明したりする力 ○考えたことを他者に伝える力	
③ 態度	【運動領域】 ○誰とでも仲よくし、安全に留意して意欲的に運動をしようとする態度	【運動領域】 ○きまりを守り、誰とでも仲よく運動をしたり、仲間の考えを認めたり、安全に留意したりして、最後まで努力して運動をしようとする態度	【運動領域】 ○約束を守り、助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、安全に留意したりして、自己の最善を尽くして運動をしようとする態度
		【保健領域】 ○健康の保持増進に取り組もうとする態度	